

地盤沈下は沈静傾向

環境対策

図 人類は、文明社会を求め、一方で、石油などの化石燃料や森林資源の消費によって、地球の温暖化をもたらしている。町としても、これからの環境対策は重要な課題であると思う。そこで、

①町内天然ガス採取井戸の稼働状況、地盤沈下の実態



まちな活性化に欠かせない駅前広場の整備 (写真奥)

- ② 海岸開発計画とその保全
- ③ ゴルフ場の拡張計画
- ④ 下水道計画を伺いたい。

図 ①現在、町内には14本のガス井戸があり、そのうち11本の井戸が稼働し、1日1万8120m³の天然ガスを採取している。地盤沈下については、年間1mmから8mmと沈静化の傾向を示している。

②1.5kmの海岸線は、当町の観光や自然保護のうえから貴重なものである。このため、浸食防止策としての階段式護岸の建設やその後背地を利用した公園化などが、平成7年度を目指してすすめられている。

③町内にあるゴルフ場の拡張については、土地所有者の意向や周辺環境を見極めながら検討したい。

④昭和61年度に、下水道計画の根幹をなす「下水道整備エリアマップ」を作成したが、都市計画決定の遅れにより事業が見送られている。今後町



天然ガス採取井戸 (屋形)

としては、「下水道整備構想」等を策定し、流末処理方式と合併処理浄化槽の設置により環境保全に努めていく方針である。

鉄道、道路対策

図 ①JR総武本線の複線化要望は、どう具現化されるか

②町内JR踏切の改善の実現時期は

③本町交差点への右折レーン設置について、始動状況は

図 ①当初、佐倉・銚子間の複線化等期成同盟会に参画していたが、現在は、千葉県JR複線化等期成同盟会に一本化されている。八街町では「J



応急対策が施された踏切 (東町)

R複線化町民会議」を組織しての運動が功を奏し、複線化ではないが快速電車が走るま

でになった。

当町としては、佐倉以东の関係首長とも協議し、複線化運動を展開していきたい。

② JR踏切は町内に4か所あるが、通行上特に支障のあった東町地先の踏切は、JRが応急対策を講じた。他の踏切も含め、今後JRと密接に協議し改善・整備していく。

③ 朝夕の通勤時間にかなり渋滞している本町交差点は、



ちょっと狭いですね。上町地先の県道

県道の改善

踏切との距離が短いため、法規に基づく右折レーンを設けることは難しい(県土木部見解)。この解決策として県では、距離の短い【小規模右折レーン】の設置を検討中だが、用地の確保が第一条件となるので、これらについて、町としても協力していきたい。

図 上町区内の県道(県道横芝下総線)は、道路が狭いうえにカーブが急で危険である。児童・生徒の登下校などを考